

DRUG

INFORMATION



2010 No. 14

平成22年6月4日発行

1. 医薬品の採用・中止・変更について..... 1
—平成22年6月3日 薬事委員会結果報告—
2. 新規登録医薬品情報..... 3
—新規採用医薬品— 3
—製剤変更医薬品— 7

岐阜大学医学部附属病院薬剤部
医薬品情報管理室
(内線7083)

※ Drug Information は医学部・附属病院 HP の下記アドレスにて提供しています。
<http://www1.med.gifu-u.ac.jp/web/drug-info/>

電子メールによる連絡を希望される方は下記までご連絡下さい。
di8931@gifu-u.ac.jp (担当：安田)

医薬品の採用・中止・変更について

—平成 22 年 6 月 3 日 薬事委員会結果報告—

採用(新規試用)医薬品

医薬品名(成分名)	薬品分類
カデュエット配合錠 4 番(アムロジピンベシル酸塩、アトルバスタチンカルシウム水和物)	持続性 Ca 拮抗薬/HMG-CoA 還元酵素阻害剤
サインバルタカプセル 20mg(デュロキセチン塩酸塩)	セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害剤
ザラカム配合点眼液 2.5mL(ラタノプロスト、チモロールマレイン酸塩)	緑内障・高眼圧症治療剤
フエナゾール軟膏 5%(ウフェナマート)	抗炎症鎮痛皮膚疾患用剤
フエナゾールクリーム 5%(ウフェナマート)	抗炎症鎮痛皮膚疾患用剤
アリムタ注射用 100mg(ペメトレキセドナトリウム水和物)	代謝拮抗性抗悪性腫瘍剤
エレジェクト注シリンジ 2mL(配合剤)	高カロリー輸液用微量元素製剤
キロサイドN注 1g(シタラビン)	再発・難治性急性白血病・悪性リンパ腫治療剤
ケタラール静注用 50mg(ケタミン塩酸塩)※	注射用全身麻酔剤
ノボラピッド 70 ミックス注フレックスペン(インスリンアスパルト)	インスリンアナログ水性懸濁注射液
ブリディオ静注 200mg(スガマデクスナトリウム)	筋弛緩回復剤
フレスミン S 注射液 1000μg(ヒドロキシコバラミン酢酸塩)	ビタミン B ₁₂ 製剤

平成 22 年 6 月 22 日より処方開始予定です。※:販売開始の都合上、処方開始は 6 月 24 日以降とします。

採用中止医薬品

医薬品名(成分名)	薬品分類
アゼブチン錠 1mg(アゼラスチン塩酸塩)	アレルギー性疾患治療剤
トミロン錠 100mg(セフテラムピボキシル)	セフェム系抗生物質製剤
ヒスロン H 錠 200mg(メドロキシプロゲステロン酢酸エステル)	抗悪性腫瘍経口黄体ホルモン製剤
ユーゼル錠 25mg(ホリナートカルシウム)	還元型葉酸製剤
バラマイシン軟膏(バシトラシン、フラジオマイシン硫酸塩)	化膿性皮膚疾患用剤
フラビタン眼軟膏 0.1%(フラビンアデニンジヌクレオチドナトリウム)	補酵素型ビタミン B ₂ 製剤
ミリステープ 5mg(ニトログリセリン)	経皮吸収型・心疾患治療剤
エレメンミック注 2mL(配合剤)	高カロリー輸液用微量元素製剤
ゾフラン注 4mg(オンダンセトロン塩酸塩水和物)	5-HT ₃ 受容体拮抗型制吐剤
ノイアップ注 50μg(ナルトグラスチム)	遺伝子組換えヒト G-CSF 誘導体制剤
ハイカリック液-1 号 700mL	高カロリー輸液用基本液
ハイカリック液-2 号 700mL	高カロリー輸液用基本液
ハイカリック液-3 号 700mL	高カロリー輸液用基本液
ヒスタグロビン皮下注用(人免疫グロブリン、ヒスタミン二塩酸塩)	アレルギー疾患治療剤
ヒューマログミックス 25 注ミリオペン(インスリンリスプロ)	抗糖尿病剤

院内の在庫がなくなり次第、処方中止とします。

製剤変更医薬品

医薬品名〈旧製剤 ⇒ 新製剤〉	薬品分類
プレタール錠 50mg ⇒ プレタール OD 錠 50mg*	抗血小板剤
プレタール錠 100mg ⇒ プレタール OD 錠 100mg	抗血小板剤
ムコダイン DS33.3% ⇒ ムコダイン DS50%	気道粘液調整・粘膜正常化剤
エルプラット注射用 50mg ⇒ エルプラット点滴静注液 50mg	抗悪性腫瘍剤
エルプラット注射用 100mg ⇒ エルプラット点滴静注液 100mg	抗悪性腫瘍剤
生理食塩液「ヒカリ」 50mL ⇒ 生理食塩液 PL「フソー」 50mL	生理食塩液
ラジカット注 30mg ⇒ ラジカット点滴静注バッグ 30mg	脳保護剤

旧製剤の在庫がなくなり次第、製剤変更とします。*:院外専用品目

名称変更医薬品

医薬品名〈旧製剤 ⇒ 新製剤〉	薬品分類
メテナリン注 0.2 ⇒ メチルエルゴメリン注 0.2mg「あすか」	子宮収縮止血剤

旧製剤の在庫がなくなり次第、名称変更とします。

院外採用中止医薬品

医薬品名(成分名)	薬品分類
ムコダイン細粒 50%(L-カルボシステイン)	気道粘液調整・粘膜正常化剤

販売中止医薬品

医薬品名(成分名)	薬品分類
エスベリベン錠(メリロートエキス、ルチン水和物) ²⁾	痔疾患治療剤
アンダーム軟膏 5%(ブフェキサマク) ¹⁾	非ステロイド性抗炎症外用剤
アンダームクリーム 5%(ブフェキサマク) ¹⁾	非ステロイド性抗炎症外用剤

1) 院内採用品目:在庫がなくなり次第、処方中止とします。

2) 院外専用品目:流通在庫がなくなり次第、もしくは平成 23 年 3 月 31 日付で処方中止とします。

【新規採用医薬品】

【商】カデュエット Caduet ファイザー
内用：錠剤[㊞] 1 錠中アムロジピンベシル酸塩
5mg、アトルバスタチンカルシウム水和物 10mg
[178.1 円/錠]

【効】本剤はアムロジピン及びアトルバスタチンによる治療が適切である以下の患者に使用する：高血圧症又は狭心症と高コレステロール血症又は家族性高コレステロール血症を併発している患者

※参考〔アムロジピン〕高血圧症、狭心症

〔アトルバスタチン〕高コレステロール血症、家族性高コレステロール血症

【用】本剤は1日1回投与する。

※参考〔アムロジピン〕高血圧症：2.5～5mg を1日1回投与する。効果不十分な場合には1日1回10mg まで増量することができる。狭心症：5mg を1日1回投与する。〔アトルバスタチン〕高コレステロール血症：10mg を1日1回投与する。重症の場合は1日20mg まで増量できる。家族性高コレステロール血症：10mg を1日1回投与する。重症の場合は1日40mg まで増量できる。

【禁】本剤の成分又はジヒドロピリジン系化合物に対し過敏症の既往歴のある患者、肝代謝能が低下していると考えられる以下のような患者〔急性肝炎、慢性肝炎の急性増悪、肝硬変、肝癌、黄疸〕、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人及び授乳婦、腎機能に関する臨床検査値に異常が認められる患者に本剤とフィブラート系薬剤を併用する場合には治療上やむを得ないと判断される場合にのみ併用すること[#]

【副】〔アムロジピン〕肝機能障害、黄疸、血小板減少、白血球減少、房室ブロック 〔アトルバスタチン〕横紋筋融解症、ミオパシー、劇症肝炎、肝炎、肝機能障害、黄疸、過敏症、無顆粒球症、汎血球減少症、血小板減少症、Stevens-Johnson 症候群、Lyell 症候群、多形紅斑、高血糖、糖尿病、間質性肺炎

【妊・授】禁忌

【低・新・乳・幼・小】未確立

*デュロキセチン塩酸塩

Duloxetine Hydrochloride

【商】サインバルタ Cymbalta 塩野義
内用：カプセル剤[㊞]

1 カプセル中 20mg [169.3 円/Cp]

【効】うつ病・うつ状態

【用】1日1回朝食後、40mg を投与する。投与は1日20mg より開始し、1週間以上の間隔を空けて1日用量として20mg ずつ増量する。効果不十分な場合には、1日60mg まで増量することができる。

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者、MAO 阻害剤を投与中あるいは投与中止後2週間以内の患者、高度の肝障害のある患者、高度の腎障害のある患者、コントロール不良の閉塞隅角緑内障の患者

【副】セロトニン症候群、抗利尿ホルモン不適合分泌症候群、痙攣、幻覚、肝機能障害、肝炎、黄疸、Stevens-Johnson 症候群、アナフィラキシー反応、高血圧クリーゼ、尿閉、悪性症候群^{*}

【妊】未確立、有益のみ

【授】原則回避、投与する場合は授乳回避

【低・新・乳・幼・小】未確立

【商】ザラカム Xalacom ファイザー
外用：点眼剤 1mL 中ラタノプロスト 50μg、チモロールマレイン酸塩 5mg (2.5mL)

[1,306 円/mL]

【効】緑内障、高眼圧症

【用】1回1滴、1日1回点眼する。

【禁】気管支喘息又はその既往歴のある患者、気管支痙攣・重篤な慢性閉塞性肺疾患のある患者、コントロール不十分な心不全・洞性徐脈・房室ブロック(Ⅱ、Ⅲ度)・心原性ショックのある患者、本剤の成分に対して過敏症の既往歴のある患者

【副】虹彩色素沈着、眼類天疱瘡、気管支痙攣、呼吸困難、呼吸不全、心ブロック、心不全、心停止、脳虚血、脳血管障害、SLE

【妊】未確立、有益のみ

【授】回避、投与する場合は授乳中止

【小】未確立

【貯】2～8℃、遮光

*ウフェナマート Ufenamate

【商】フェナゾール Fenazol アボット

外用：軟膏剤 5%(10g) [21.3 円/g]

外用：クリーム剤 5%(10g) [21.3 円/g]

【効】急性湿疹、慢性湿疹、脂漏性湿疹、貨幣状湿疹、接触皮膚炎、アトピー皮膚炎、おむつ皮膚炎、酒さ様皮膚炎・口囲皮膚炎、帯状疱疹

【用】適量を 1 日数回患部に塗布又は貼付する。

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【貯】遮光

*ペメトレキセドナトリウム水和物

Pemetrexed Sodium Hydrate

【商】アリムタ Alimta イーライリリー

注射：(●) 1 瓶中 100mg [57,358 円/瓶]

【効】①悪性胸膜中皮腫 ②切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌

【用】①《シスプラチンとの併用》1 日 1 回 500mg/m²を 10 分間かけて点滴静注し、少なくとも 20 日間休薬する。これを 1 コースとし、投与を繰り返す。②1 日 1 回 500mg/m²を 10 分間かけて点滴静注し、少なくとも 20 日間休薬する。これを 1 コースとし、投与を繰り返す。

【警】◆本剤を含むがん化学療法に際しては、緊急時に十分対応できる医療施設において、がん化学療法に十分な知識・経験を持つ医師のもとで、本剤の投与が適切と判断される症例についてのみ投与すること。適応患者の選択にあたっては、各併用薬剤の添付文書を参照して十分注意すること。また、治療開始に先立ち、患者又はその家族に有効性及び危険性を十分説明し、同意を得てから投与すること。◆本剤による重篤な副作用の発現を軽減するため、必ず葉酸及びビタミン B₁₂の投与のもとに本剤を投与すること。◆重度の腎機能障害患者で、本剤に起因したと考えられる死亡が報告されているので、重度の腎機能障害患者には本剤を投与しないことが望ましい。◆多量の胸水又は腹水が認められる患者では、適宜、体腔液を排出すること。◆本剤の投与により、間質性肺炎があらわ

れることがあるので、本剤の投与に際しては、胸部 X 線検査等を行うなど観察を十分に行い、間質性肺炎が疑われた場合には、投与を中止し、適切な処置を行うこと。

【禁】本剤の成分に対し重篤な過敏症の既往歴のある患者、高度な骨髄抑制のある患者、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人

【副】骨髄抑制、間質性肺炎、重度の下痢、脱水、腎不全

【妊】禁忌 【授】授乳中止

【小】未確立

【商】エレジェクト Eleject テルモ

注射：液剤 1 筒(2mL)中塩化第二鉄 9.46mg、塩化マンガン 0.1979mg、硫酸亜鉛水和物 17.25mg、硫酸銅 1.248mg、ヨウ化カリウム 0.166mg

[後 218 円/筒]

【効】経口、経腸管栄養補給が不能又は不十分で高カロリー静脈栄養に頼らざるを得ない場合の亜鉛、鉄、銅、マンガン及びヨウ素の補給

【用】1 日 2mL を高カロリー静脈栄養輸液に添加し、点滴静注する。

【禁】胆道閉塞のある患者、本剤又は本剤配合成分に過敏症の既往歴のある患者

【妊】未確立、有益のみ 【授】未確立、原則禁忌、投与する場合は授乳回避

【小】未確立

【貯】遮光

*シタラビン Cytarabine

【商】キロサイド N Cylocide N 日本新薬

注射：液剤(●) 1 瓶(50mL)中 1g [13,418 円/瓶]

【効】①再発又は難治性の下記疾患：急性白血病((1)急性骨髄性白血病、(2)急性リンパ性白血病) ②悪性リンパ腫

【用】《シタラビン大量療法》①(1)成人には 1 回 2g/m²を 5%ブドウ糖液あるいは生理食塩液に混合して 300～500mL とし、12 時間毎に 3 時間かけて点滴で最大 6 日間連日静脈内投与する。小児には 1 回 3g/m²を 12 時間毎に 3 時間かけて点滴で 3 日間連日静脈内投与する。(2)《他の抗腫瘍剤との併用》成人には 1 回 2g/m²を 5%ブドウ糖液あるいは生理食塩液に混合して 300～500mL とし、12 時間毎に 3 時間かけて点滴で最大 6 日間連日静脈内投与する。小児には 1 回

2g/m²を12時間毎に3時間かけて点滴で3日間連日静脈内投与する。②《他の抗腫瘍剤との併用》成人には1回2g/m²を5%ブドウ糖液あるいは生理食塩液に混合して300～500mLとし、1日1～2回3時間かけて点滴で1～2日間(最大2回)連日静脈内投与する。小児には1回2g/m²を12時間毎に3時間かけて点滴で3日間連日静脈内投与する。

【警】◆シタラビン大量療法(以下、本療法)は高度の危険性を伴うので、投与中及び投与後の一定期間は患者を入院環境で医師の管理下に置くこと。また、緊急医療体制の整備された医療機関においてがん化学療法に十分な知識と経験を持つ医師のもとで本療法が適切と判断される症例についてのみ実施すること。他の抗腫瘍剤と併用する場合、適応患者の選択にあたっては、各併用薬剤の添付文書を参照して十分注意すること。◆本療法施行にあたっては、患者又はその家族に有効性及び危険性を十分に説明し、同意を得てから投与を開始すること。◆本療法は強い骨髄機能抑制作用を有する療法であり、本療法に関連したと考えられる死亡例が確認されている。本療法を施行したすべての患者に強い骨髄機能抑制が起こり、その結果致命的な感染症及び出血等を惹起することがあるので、本療法施行にあたっては、感染予防として無菌状態に近い状況下(無菌室、簡易無菌室等)で治療を行う等、十分注意すること。◆感染症あるいは出血傾向が発現又は増悪し、致命的となることがあるので、本療法施行時に骨髄が低形成あるいは前治療又は他の薬剤による骨髄機能抑制を起こしている患者では、治療上の有益性が危険性を上回ると判断されるとき以外は施行しないこと。◆本療法により白血球(好中球)数が減少しているとき、38℃以上あるいはそれ未満でも悪寒・戦慄を伴う発熱をみた場合には感染症を疑い、血液培養により感染菌の同定を試みるとともに、直ちに十分な種類・量の広域抗菌剤を投与すること。◆本療法施行にあたっては、「禁忌」、「慎重投与」、「重要な基本的注意」の項を参照し、慎重に患者を選択すること。

【禁】本剤に対する重篤な過敏症の既往歴のある患者、重篤な感染症を合併している患者、骨髄機能抑制のある患者[#]

【副】骨髄機能抑制、ショック、シタラビン症候群、急性呼吸促迫症候群、間質性肺炎、肝機能障害、黄疸、不整脈、心不全、消化管障害、中枢神経系障害、肝膿瘍、急性膵炎、肺浮腫、有痛性紅斑

【妊】原則禁忌 【授】未確立、授乳中止

【小】慎重

*ケタミン塩酸塩 Ketamine Hydrochloride

【商】ケタラル Ketalar 第一三共
注射：液剤[㊟] 1管(5mL)中50mg

【効】手術・検査及び処置時の全身麻酔及び吸入麻酔の導入

【用】初回1～2mg/kgを緩徐(1分間以上)に静注し、必要に応じて初回量と同量又は半量を追加投与する。

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者、脳血管障害・高血圧(収縮期圧160mmHg以上、拡張期圧100mmHg以上)・脳圧亢進症及び重症の心代償不全の患者、痙攣発作の既往歴のある患者、外来患者

【副】急性心不全、呼吸抑制、無呼吸、舌根沈下、痙攣、覚醒時反応

【妊】未確立、有益のみ

*インスリンアスパルト Insulin Aspart

【商】ノボラピッド 70 ミックス<フレックスペン> ノボ
NovoRapid 70Mix
注射：懸濁剤[㊟] 1筒(3mL)中300単位(溶解インスリンアスパルト：プロタミン結晶性インスリンアスパルト=7:3) [2,286円/キット]

【効】インスリン療法が適応となる糖尿病

【用】初期は1回2～20単位を1日3回毎食直前に皮下注する。他のインスリン製剤の投与量を含めた維持量は1日4～100単位である。

【禁】低血糖症状を呈している患者、本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【副】低血糖、アナフィラキシーショック、血管神経性浮腫

【妊】未確立、注意 【小】未確立、注意

【貯】遮光、2～8℃

*トラスツズマブ Trastuzumab

【商】ハーセプチン Herceptin 中外
注射：1瓶中60mg [23,992円/瓶]

【効】①HER2 過剰発現が確認された転移性乳癌
②HER2 過剰発現が確認された乳癌における術後補助化学療法

【用】①1 日 1 回、初回投与時には 4mg/kg を、2 回目以降は 2mg/kg を 90 分以上かけて 1 週間間隔で点滴静注する。②1 日 1 回、初回投与時には 8mg/kg を、2 回目以降は 6mg/kg を 90 分以上かけて 3 週間間隔で点滴静注する。

【警】◆本剤を含むがん化学療法は、緊急時に十分対応できる医療施設において、がん化学療法に十分な知識・経験を持つ医師のもとで、本剤が適切と判断される症例についてのみ実施すること。適応患者の選択にあたっては、本剤の添付文書を参照して十分注意すること。また、治療開始に先立ち、患者又はその家族に有効性及び危険性を十分説明し、同意を得てから投与すること。◆心不全等の重篤な心障害があらわれ、死亡に至った例も報告されているので、必ず本剤投与開始前には、患者の心機能を確認すること。また、本剤投与中は適宜心機能検査(心エコー等)を行い患者の状態(左室駆出率(LVEF)の変動を含む)を十分に観察すること。特に以下の患者については、心機能検査(心エコー等)を頻回に行うこと 1)アントラサイクリン系薬剤を投与中の患者又はその前治療歴のある患者 2)胸部へ放射線を照射中の患者 3)心不全症状のある患者 4)冠動脈疾患(心筋梗塞、狭心症等)の患者又はその既往歴のある患者 5)高血圧症の患者又はその既往歴のある患者 ◆本剤投与中又は本剤投与開始後 24 時間以内に多くあらわれる Infusion reaction のうち、アナフィラキシー様症状、肺障害等の重篤な副作用(気管支痙攣、重度の血圧低下、急性呼吸促迫症候群等)が発現し死亡に至った例が報告されている。これらの副作用は、特に安静時呼吸困難(肺転移、循環器疾患等による)のある患者又はその既往歴のある患者において重篤化しやすいので、患者の状態を十分に観察しながら慎重に投与すること。◆上記の副作用が報告されているので、本剤は緊急時に十分な対応が可能な施設及び癌化学療法に十分な経験を持つ医師のもとで、使用上の注意等を遵守の上、投与すること。

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者、重篤な心障害のある患者[#]

【副】心障害、アナフィラキシー様症状、間質

性肺炎・肺障害、白血球減少、好中球減少、血小板減少、貧血、肝不全、黄疸、肝炎、肝障害、腎障害、昏睡、脳血管障害、脳浮腫、敗血症

【妊】有益のみ 【授】授乳回避

【低・新・乳・幼・小】未確立

【貯】2～8℃

*スガマデクスナトリウム Sugammadex Sodium

【商】ブリディオナ Bridion

シェリング・プラウ

注射：液剤 1 瓶(2mL)中 200mg [9,947 円/瓶]

【効】ロクロニウム臭化物又はベクロニウム臭化物による筋弛緩状態からの回復

【用】浅い筋弛緩状態(筋弛緩モニターにおいて四連(TOF)刺激による 2 回目の収縮反応(T₂)の再出現を確認した後)では 1 回 2mg/kg を、深い筋弛緩状態(筋弛緩モニターにおいてポスト・テタニック・カウント(PTC)刺激による 1～2 回の単収縮反応(1-2PTC)の出現を確認した後)では 1 回 4mg/kg を静注する。ロクロニウム臭化物の挿管用量投与直後に緊急に筋弛緩状態からの回復を必要とする場合、ロクロニウム臭化物投与 3 分後を目安に 1 回 16mg/kg を静注する。

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【副】過敏症、気管支痙攣

【妊】未確立、有益のみ 【授】原則回避

【低・新・乳・幼・小】未確立

【貯】遮光

*ヒドロキソコバラミン酢酸塩

Hydroxocobalamin Acetate

【商】フレスミン S Fresmin-S 味の素

注射：液剤 1 管(1mL)中 1,000μg [100 円/管]

【効】○ビタミン B₁₂ 欠乏症の予防及び治療、ビタミン B₁₂ の需要が増大し食事からの摂取が不十分な際の補給(消耗性疾患、甲状腺機能亢進症、妊産婦、授乳婦等)、巨赤芽球性貧血、広節裂頭条虫症、悪性貧血に伴う神経障害、吸収不全症候群(スプルー等) ○下記疾患のうちビタミン B₁₂ の欠乏又は代謝障害が関与すると推定される場合：栄養性及び妊娠性貧血、胃切除後の貧血、肝障害に伴う貧血、放射線による白血球減少症、神経痛、末梢神経炎、末梢神経麻痺、筋肉痛、関節痛

【用】1 回 1,000μg までを筋注又は静注する。

【副】ショック

【製剤変更医薬品】

＊シロスタゾール Cilostazol

【商】プレタール OD Pletaal OD 大塚

内用：錠剤(口腔内崩壊錠)

1 錠中 50mg [105.5 円/錠]

100mg [189.5 円/錠]

【効】慢性動脈閉塞症に基づく潰瘍・疼痛及び冷感等の虚血性諸症状の改善、脳梗塞(心原性脳塞栓症を除く)発症後の再発抑制

【用】1 回 100mg を 1 日 2 回投与する。

【警】本剤の投与により脈拍数が増加し、狭心症が発現することがあるので、狭心症の症状(胸痛等)に対する問診を注意深く行うこと。

【禁】出血している患者(血友病、毛細血管脆弱症、頭蓋内出血、消化管出血、尿路出血、喀血、硝子体出血等)、うっ血性心不全の患者、本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人

【副】うっ血性心不全、心筋梗塞、狭心症、心室頻拍、出血(脳出血、肺出血、消化管出血、鼻出血、眼底出血等)、汎血球減少、無顆粒球症、血小板減少、間質性肺炎、肝機能障害、黄疸、急性腎不全

【妊】禁忌 【授】授乳回避

【低・新・乳・幼・小】未確立

＊L-カルボシステイン L-Carbocysteine

【商】ムコダイン Mucodyne 杏林

内用：ドライシロップ剤 1g 中 500mg

[37.7 円/g]

【効】〔成人〕○下記疾患の去痰：上気道炎(咽頭炎、喉頭炎)、急性気管支炎、気管支喘息、慢性気管支炎、気管支拡張症、肺結核 ○慢性副鼻腔炎の排膿 〔小児〕○下記疾患の去痰：上気道炎(咽頭炎、喉頭炎)、急性気管支炎、気管支喘息、慢性気管支炎、気管支拡張症、肺結核 ○慢性副鼻腔炎の排膿 ○滲出性中耳炎の排液

【用】成人に 1 回 500mg を用時懸濁し、1 日 3 回投与する。幼・小児に 1 回 10mg/kg を用時懸濁し、1 日 3 回投与する。

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【副】Stevens-Johnson 症候群、Lyell 症候群、肝機能障害、黄疸、ショック、アナフィラキシー

様症状

【妊】未確立、原則禁忌

＊オキサリプラチン Oxaliplatin

【商】エルプラット Elplat ヤクルト

注射：液剤[㊞]

1 瓶(10mL)中 50mg [38,142 円/瓶]

1 瓶(20mL)中 100mg [70,284 円/瓶]

【効】①治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌 ②結腸癌における術後補助化学療法

【用】①《他の抗悪性腫瘍剤との併用》85mg/m²を 1 日 1 回 2 時間で点滴静注し、少なくとも 13 日間休薬、又は 130mg/m²を 1 日 1 回 2 時間で点滴静注し、少なくとも 20 日間休薬する。これを 1 サイクルとして投与を繰り返す。②《レボホリナート及びフルオロウラシルの静脈内持続投与方法との併用》85mg/m²を 1 日 1 回 2 時間で点滴静注し、少なくとも 13 日間休薬する。これを 1 サイクルとして投与を繰り返す。

【警】◆本剤を含むがん化学療法は、緊急時に十分対応できる医療施設において、がん化学療法に十分な知識・経験を持つ医師のもとで、本療法が適切と判断される症例についてのみ実施すること。適応患者の選択にあたっては、各併用薬剤の添付文書を参照して十分注意すること。また、治療開始に先立ち、患者又はその家族に有効性及び危険性を十分説明し、同意を得てから投与すること。◆本剤投与後数分以内の発疹、瘙痒、気管支痙攣、呼吸困難、血圧低下等を伴うショック、アナフィラキシー様反応が報告されているので、患者の状態を十分に観察し、過敏症状(気管支痙攣、呼吸困難、血圧低下等)が認められた場合には、本剤の投与を直ちに中止し適切な処置を行うこと。また、回復後は本剤を再投与しないこと。◆本剤はレボホリナート及びフルオロウラシルの静脈内持続投与方法等の併用の場合に有用性が認められており、用法・用量を遵守すること。また、本併用療法において致死的な転帰に至る重篤な副作用があらわれることがあるので、患者の状態を十分観察し、異常が認められた場合には、速やかに適切な処置を行うこと。

【禁】機能障害を伴う重度の感覚異常又は知覚

不全のある患者、本剤の成分又は他の白金を含む薬剤に対し過敏症の既往歴のある患者、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人

【副】末梢神経症状、ショック、アナフィラキシー様症状、間質性肺炎、肺線維症、骨髄機能抑制、溶血性尿毒症症候群、視野欠損、視野障害、視神経炎、視力低下、血栓塞栓症、心室性不整脈、心筋梗塞、肝静脈閉塞症、急性腎不全

【妊】禁忌 【授】授乳中止

【低・新・乳・幼・小】未確立

＊生理食塩液 Isotonic Sodium Chloride Solution

【商】生理食塩液 PL 扶桑

注射：液剤 1 瓶(50mL)中塩化ナトリウム 0.45g
[92 円/瓶]

【効】〔注射〕①細胞外液欠乏時、ナトリウム欠乏時、クロール欠乏時 ②注射剤の溶解希釈剤

【用】〔注射〕①20～1,000mL を皮下・静注又は点滴静注する。②適量を取り注射用医薬品の希釈、溶解に用いる。

＊エダラボン Edaravone

【商】ラジカット Radicut 田辺三菱

注射：液剤 1 袋(100mL)中 30mg
[8,228 円/キット]

【効】脳梗塞急性期に伴う神経症候・日常生活動作障害・機能障害の改善

【用】1 回 30mg を、30 分かけて 1 日朝夕 2 回の点滴静注を行う。発症後 24 時間以内に投与を開始し、投与期間は 14 日以内とする。

【禁】重篤な腎機能障害のある患者、本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【副】急性腎不全、ネフローゼ症候群、劇症肝炎、肝機能障害、黄疸、血小板減少、顆粒球減少、DIC、急性肺障害、横紋筋融解症、ショック、アナフィラキシー様症状

【妊】未確立、原則禁忌 【授】授乳回避

【小】未確立